

編集と発行 鹿児島県肝属郡大根占町役場
総務課 文書広報係
(電話 大根占局 1・69・254番)
印刷 逆瀬川印刷所 (電話 140番)

町の人 昭和43年1月1日 現在推計人口
男 5,698人 計 12,193人
女 6,495人
前月より 4人増

たばこは町内の
店で
買いましょう。

大 報 おおおじぬ



北西の季節風が強く吹く一月から二月にかけては、この農家でも漬物用の大根の乾燥がはじまります。

ここ神川海岸では、ごらんのような大規模な乾燥が行なわれています。

これは、宿利原校区内の、大尾、落河、才原、笑喜方面の農家六十余戸の人たちが、鹿児島市の漬物業者と契約栽培しているもので、グループの代表者は、大尾部落の飯屋清重さん。

栽培面積は、全部で九ヘクタール余、一〇アール当り一万本前後の大根が収穫され、そのうち、漬物用として商品化されるのは、五千本前後、漬物用の大根は、乾燥中に霜の害にあうことや、乾燥の際塩水で洗うことなどから、ここ、神川海岸が選ばれたものです。

二月中下旬まで乾燥され、鹿児島の方に送られる予定です。

善意

の話題

神川城部落の、今熊義文さんは、父(与助さん)の忌明けに当り、三千円を、寺前部落の谷脇嘉則さんは、父(嘉吉さん)の忌明けに当り、二千元を、神川中原部落の秋元清治さんは、父(湯ノ口嘉一さん)の忌明けに当り、五千元を、それぞれ、社会福祉のため役立ててほしい、と町社協に寄附くださいました。

町民のみなさん方が日ごろから県政について聞きたい知りたい、と思っておられることや、わからないで困っていることについて、県の担当者から個別に聞くことのできる「移動県民室」が、この三月一日、本町で開設されます。

この移動県民室では、地域における日常生活や、仕事のうえでのいろいろなことについても相談することが出来ます。

相談の形式は、座談会などちがって、所定の時間内であれば、仕事のままいつでもきて、県の相談員と、一対一でひざをつきあわせて相談する形式のものです。

相談事項のうちで、当日結論を得られない未解決のものがあれば、県の関係主務課で内容を検討し、相談者に対して、後日文書で回答されることになっております。

農事一般、水産、商工、土木、保健衛生関係等、あらゆる面の苦情や意見、要望など県政あるいは、県民生活に関係することならどんなことでも相談に応ずることになっていますから、多数のみなさんが利用くださるよう、お待ちしています。

場所時間は、大根占小学校の体育館で午前十時から、午後四時までの予定ですが、確定次第部落長さん等を通じてくわしくお知らせします。

社協では、御厚意をありがたうお受けし、不幸な人たちのため役立てる所存です。

厚くお礼申し上げますと共に、亡くなられたかたがたのご冥福を心からお祈りいたします。

※老人ホームにも

町社会福祉協議会から、歳末見舞金をいただくほか次のかたがたからも、慰問金や、慰問品をいただきました。

(順不同、敬称略)

肝属地区県出先機関一同、大根占警察署長、大徳利男、本町、川越ちよみ、皆倉、牛飼、神ノ浜二区、大山辰夫、毛下、毛下いつ子、日本専売公社根占出張所並びに職員一同、南大隅高校家庭クラブ、十七人

以上のかたがたです。入園中のお年寄りにかわって、厚くお礼申し上げます。

自主財源は わずか二六パーセント

苦しくなる財政事情

41年度の決算から

四十一年度の各会計決算がまとまり、十二月の定例議会で認定されました。そこで、その内容をみてみたいと思います。
第一表は、各会計決算の状況です。全会計を通じて、翌年度への繰越金は、八十五万三千円となります。

▽一般会計

◎才入

グラフで見ましょう。

才入総額に対して、自主財源は僅かに二六パーセント、うち町税は、九・二パーセントとなっており、「三割自治」とよく言われますが、それにも満たない状態です。
町税の納入成績は、年々よくなっており、この決算では

◎才出

経常経費の支出が大きく、とくに、社会福祉関係や、農業関係等で、年々新しい制度がふえて、役場でやらなければならぬ仕事が多くなると、人件費や物件費等を多く要することになります。

一方建設事業等も、数年前に比べて大きく伸び、この決算では、失対事業、災害復旧費を合すると、約五パーセントになります。

▽国保事業特別会計

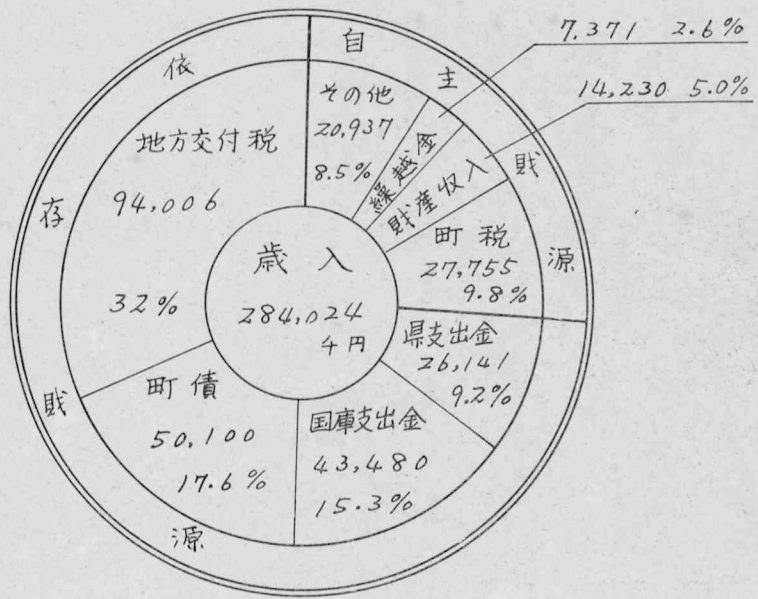
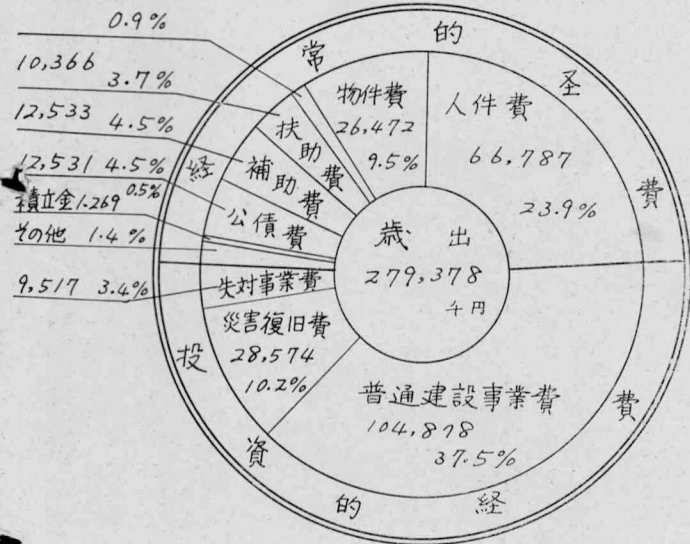
才入総額、四千八百九十二千円のうち、最も大きなものは、国庫支出金の約六〇パーセント、ついで保険税の約二五パーセント、繰越金の約一四パーセント等となっています。

表1

各会計別決算状況 (千円)

会計別	才入	才出	収出差引	実質収支
一般会計	284,024	279,378	4,646	4,646
国保事業	48,792	45,358	3,434	3,434
上水道事業	5,747	5,674	73	73
合計	338,563	330,410	8,153	8,153

維持補修費
2,509



一般会計と同様、国庫支出金が財源の大部分を占め、これは事業性格からこうした傾向は年々強くなるでしょう。国民健康保険税は、納入成績も九六・七パーセントとあと一息、みなさん方のご協力をお願いします。

医療費の値上げによる給付費の増加のため、四十一年度では、税率の改訂をして税金が引きあげられましたが、相次ぐ医療費の値上げによって国保財政はますます苦しくなっており、この決算で、四十一年度に繰越される三十三万四千五百円は、毎月平均町が医療機関に支払う給付費、約三五〇万円にも満たない状態です。今後は、被保険者皆さん方が病気の早期発見、早期治療につとめていただかなければいよいよ行き詰まってくることを考えられます。

十五人が合宿研修

ことしの青年建設班

農業後継者の育成は、いま大きな問題として取りあげられております。

町でも、農業構造改善事業や、水田区画整理事業等を実施して、土地基盤の整備を行ない、農業の近代化への基礎づくりをしています。若くは、これと併行して、若い農業者の育成にも力をいれていかねばなりません。

昭和三十八年度から実施されている「農村青年建設班」は、若い農村青年を対象に、一定期間の合宿、集合研修を通じて農業の基礎知識を修得せしめ、将来本町の農業の担



い手としてがんばっていただこう、というものです。

これまで、毎年二十名前後の男女の人たちが研修を受け、きびしい環境にとりまかれた農業と取り組んでおり、農業の技術、経営的な面はもちろんです。人間的にも文字どおり中堅農家として活躍し、その成果を発揮しつつあります。

この建設班は、これから毎年続けて実施していく考えですが、せっかく開設しているのに、できるだけ多くの若い人たちに参加していただきたいわけです。

これからの農業は、これまでと違って、自分一人だけでやっていくものではないこと、はご承知のとおりです。

こうした意味から、これから郷土で農業と取り組んでいこうとする若い人たちは、できるだけ参加していただくよう係では望んでいます。

いろいろなめんどことは、まず裁判所の調停で

例えば

金を貸した返してくれない。
貸した家を明け渡してくれない。
交通事故の治療代等がほしい。など

そのほか、いろいろの争いごとや請求は、費用もわずかで済み、手がるに早く、話し合い譲り合って解決してくれる「調停制度」を利用しましょう。

調停の申し立ては、裁判所で、文書でなくとも、口頭で申し立てをすることができま

す。

泣き寝入りしないで、気軽なことができる調停によって解決しましょう。

ことは、男八人、女七人の合計一五人の班編成で、去る一月二十二日から、町の中央公民館に合宿、二月十日までの二十日間研修することにしていきます。

毎朝午前六時三十分起床午後十時の消灯まで、町内外の講師による講義や実習にはげんでいます。

目標を軽く突破

42年産葉たばこの成績

四十二年産葉たばこの収納成績がまとまりましたのでお知らせいたします。

きょう年は、好天気に恵まれたこと、ポリ被覆による早期作が実施される等、耕作者の努力によって、これまでになく好成績でした。

町内全般的成績は
耕作者、四一人、面積
一万六千三百八十六アール、
総量目、四万三千九百五キ

こうれいの

消防出初式は
一月六日、大

根占小学校で
ありました。

入・退団者

表彰者は、次
のとおりです

◎入団者

岩元定春、

坂下進、以上

神川分団

前迫良光、

飯屋重男、以

上池田分団

村田博治、

以上宿利原分団

◎退団者

▽中央分団

新原盛助、川崎栄一、落司

順一

▽神川分団

今熊藤夫、永田利行

▽池田分団

池田三良、飯屋操

▽宿利原分団

笑喜岩男、宿利原敏吉、田

ログラム、総収納代金、二億
六千九百八十一万五千二百〇円、
一キロ当りの単価、六六六円
一〇アール当りの量目、二六
八キロログラム、一〇アール当
り代金、一六万五千〇八七円
となっております。

個人別の成績では、総収納
代金の最高は、安水部落の安
水敏雄さんで、二一三万六千
二一五円、一〇アール当りの
収納代金では、山ノ口部落の

中治夫

◎昇任者

副分団長 中馬重男

(宿利原分団)

部長、大迫清武 (〃)

班長、命苦次兵衛 (〃)

◎三ヶ年精勤賞

▽中央分団

栗脇一徳、磯脇末治、垣内

不二男

▽神川分団

前野光彦、西園希、永田道

徳、永田久夫

▽池田分団

安水一、白井三郎、川辺鉄

也、木下十三男、菅崎幹男

▽宿利原分団

厚ケ瀬義弘、飯隈章、小川

友志、宿利原平、命苦次兵衛

黒瀬信夫、竹原慶幸、命苦勝

◎一ヶ年精勤賞

▽中央分団 八人

▽神川 十二人

▽池田 十三人

▽宿利原 九人

※消防協力表彰

神川中部落、秋元正治氏、

之内九二郎さんの、二一
千一六五円、一キロ当りの代
金では、山ノ口部落の、新田
実さんの、七三六円、などと
なっています。

四十三年度の計画では栽培
面積、一六一・八ヘクタール
一〇アール当り二二三〇キロ、
一キロ当り、六二八円、一〇
アール当り、一四万四千四〇
〇円で、総収納代金を、二億
三千四〇〇万円にする計画で
す。

早作、早収穫を守り、好天
好況を願いながら、こどもも
目標を上回る成績が望まれま
す。

一二六人が おとなの仲間入り

ことしの成人式

ことしの成人式は、例年ど
おり一月十五日の「成人の日」
に、大根占小学校でありまし
た。

男六四人、女六二人、合計
一二六人がそろっておとなの
仲間入りをしました。

町長から、「おとなとして
恥ずかしい人間になって
ほしい。」という意味の激励
のことばのあと、誓のことは
や、成人になった感想の発表
記念品の贈呈等があり、大徳

神川分団 福岡正

福岡さんは、き

よ年九月十三日、

麓部落の鶴田三郎

さんが、行方不明

になり中央分団が

その捜査をした際

当時の事情をよく

考察し、事故現場

を速やかに判断し

て、短時間のうち

に発見されたもの

で、福岡さんのこ

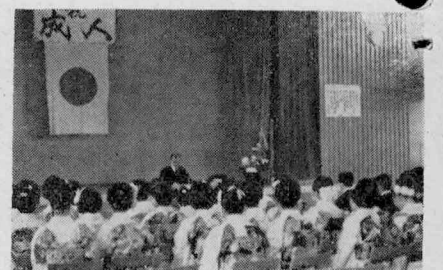
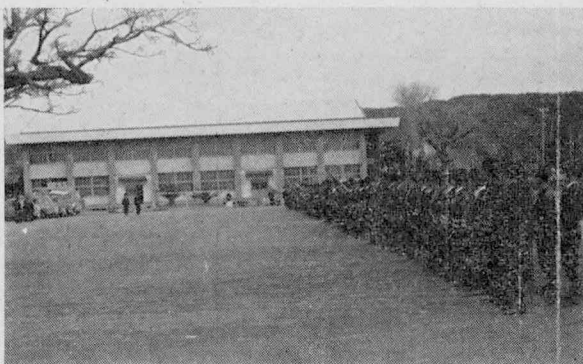
の好判断のおかげ

で鶴田さんを無事

発見できたもので

す。

※賞詞贈呈



警察署長、曉指導主事の有意
義な講話を聞いて、正午過ぎ
終了しました。



戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

(税務課だよ)

町税の納入につきましては
部落長、婦人会長の皆様のご
努力及び納税義務者のご協力
によりまして、いい成績であ
りましたことを感謝申し上げます。

また、例年のとおり所得申
告の時期が参ります。関係書
類を整理し、申告ものない
ようお願いいたします。日時、場
所は部落長を通じてお知らせ
します。

恐ろしい鶏の病氣

ニューカッスル病

出たらすぐ役場に

ひところ騒がれました鶏のニューカッスル病が、出水、鹿児島市の各市や、曾於郡地方などでしきりに発生しています。すでに御承知のようにこの病氣は、法律でその防止策など、厳しく規定されている法定伝染病です。

鶏をたくさん飼っておられる人はもちろん、一般の家庭でも、充分その防止に注意してください。

この病氣が、一度侵入すると、鶏や卵の移動禁止はもちろんです。売買もできなくなり、病氣が発生した家の鶏は、全部殺処分しなければなら

らない恐ろしい病氣です。

ですから、次のことに注意して、お互いに、ニューカッスル病の町内への侵入を防止しましょう。

- 1、ヒナや鶏、卵などを購入するときは、その購入先に病氣が発生していないかどうか充分調査し、販路のあいまいなものや、発病の疑いのある場合は、購入しないこと。
- 2、みだりに人を鶏舎に入れない。
- 3、多数羽飼育者は、鶏舎の出入口に消毒ばんを設けるほか、自主的に予防注射をすること、(注射液は、希望があれば、役場経済課であつせん

先進地に研修して

神川城 今隈俊郎



きょう年九月末から十二月までの約三ヶ月間、畜産(主として和牛)関係について、鳥取県の先進農家に宿泊し、研修して参りました。

研修のおもな目的は、単に和牛飼育の技術的なことだけでなく、自立農家としての先進農家の考え方、毎日の仕事や、むずかしい問題にであっ

たときの心がまえと、それを切り抜けていくための根拠を養うことでした。

私を受け入れていただいた農家は、島根県に二〇キロメートル、広島県に二〇キロメートル、岡山県に一・五キロメートルという中国山脈の脊りようというにふさわしいところにある。

日南町上坂(こうさか)部落(戸数二戸)にあります。受け入れ農家の経営規模は水田一四〇アール、生産牛一四頭、山林七五〇アール、採草地一〇〇アール、畑二〇ア

します)

4、鶏の状態に朝夕充分注意する。(元氣がなくなる。食欲がなくなる。奇声をあげる。便が軟かく、下痢便状となり。色は暗緑色で、血の混入の場合もある。)

このような症状の鶏が出たら、すぐ、役場経済課に連絡してください。

総合で本町が優勝

根占地区

子牛品評会

根占地区冬期子牛品評会が去る一月二十日、田代町でありました。

本町から十五頭、根占十六頭、佐多十四頭、田代十四頭の合計五十九頭が出場しました。総合成績では、本町が優勝しましたが、当日の講評でも本町の和牛の資質の向上と、一ルとなつております。

経営主は、三才の人ですが、牛のことはもちろん、農業経営全般にわたつてとても意欲的で、県の指定農家にもなつております。

水田の一四〇アールは、そのすべてが植付付けから収穫まで一貫して共同化され、とてもよくまとまつた部落でもあります。

また、牛の放牧も、本県のそれとは大変ちがひ、急傾斜も利用され、これまでのこの地方の人たちの労苦を身にしみて感じました。

飼育の熱心さを賞讃されました。

おもな成績は次のとおりです。(関係分のみ)

- 一等 徳永五男、平原喜太郎、飯屋みちえ、迫重夫、宮園直矢、小園辰哉、諏訪原貞二、園田常盛、倉ヶ崎喜代志、大山静之助、平原甚吉
- 二等 永田喜次郎、落司一明、牛飼国夫、菅崎英蔵

出場二七〇頭

好成績の子牛セリ市

二月四日に開かれた大根占市場の子牛セリ市には、二七〇頭の子牛が出場、たくさん

の買手や、見物客が集り、これまでになににぎわいをみせました。

本町の子牛セリ市に、二七〇頭の子牛が出場したのは、そゝいであります。

また、ひまをみては遠くまで出かけて人の牛を見たり、話を聞く等、常に研修と努力を続けておられるのは感心し、私たちも深く学ばねばと感じました。

三月月という短かい期間ではありましたが、畜産農家として成功しておられる先進者のもとで、寝食を共にし、勉強できたことは、自立経営農家をめざす私にとっては、日々が貴重な研修期間でした。

今度の研修で、いち番強く感じたことは、畜産に限らず価格に左右されることなく、最後まで信念をもつてやり抜くことだと考えました。

これがはじめて、値だんの方も、皆倉部落の平原喜太郎さんの子牛が二万五千円したのを最高に、平均価格も根占市場を約三千円も上回る一万八千円余、という成績でした。

これまでお知らせしましたように、根占市場と統合された新しい家畜市場が、花ノ木に建設中で、四月のセリ市から、本町の子牛も、この新しい市場でセリに出ます。

工事は、順調にすすんでいくことから、大根占市場(鳥井戸)は恐らく今回が最後になるものと考えられます。

買手の多く集る大きな市場で販売することは、生産者にも大きくプラスになるわけですから、生産農家でもうんとはげんでいただけに、これまで以上の子牛を生産し、「大根占牛」の名を高めていただきたいものです。

に牛の飼育管理をした感じでした。

現在、私は、三頭の生産牛を飼っていますが、将来はこれを五頭以上にもつていく考えです。これも年次計画をたて、段階的にふやしていきたいと思います。

本県の場合、鳥取県にくらべて温暖で、和牛の飼育には条件的に恵まれています。この自然の好条件を生かして、手間のかからない良い牛を、多く生産し、価格の変動にも耐えていけるような経営にしたいと考えます。そのために、今回の研修は大きく役立たせるつもりです。

最後にこの研修につきまして、いろいろお世話くださった関係者の人たちに心から感謝申しあげて、私の報告いたします。

これからはじめて、値だんの方も、皆倉部落の平原喜太郎さんの子牛が二万五千円したのを最高に、平均価格も根占市場を約三千円も上回る一万八千円余、という成績でした。

◇くらしのメモ

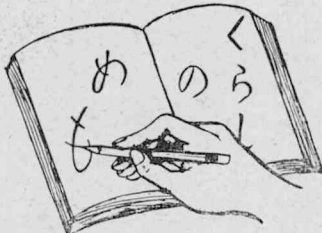
ことしの立春は五日。暦の上では春がきて、まだまだ寒さはきびしく冷たい北西風が吹きあれます。かげなどにとりつかれないよう、冬の終わりのこの月を元気で過しましょう。

ことしはうるう年に当たり二月は二十九日となりますが昔から二月は逃げる月といわれあつたという間に日がたつてしまします。各家庭では出費が多く、収入が少ない月でもあります。家事、作業など手ぎわよく始末して、むだのないようにいたしましょう。

卒業、進学、就職などをひかえたお子さんのある家庭では、それぞれの準備や心構えができていくことと思います。

いちばんたいせつなことは家族全部が暖かい気持ちで見守ってやることです。とくに大学進学、就職のお子さんたちは、焦燥感や不安感におちいりがちです。はたのものがそのベースにまきこまれないよう心がけましょう。

◇二月の食生活 二月は、野菜類の不足で主婦は苦勞します。この季節にとくに意を用いたいことは、ビタミンC不足です。多少高価でも、チンヤ(英語でレタス)をおすすめします。月半ばになるとさやえんどうがあざやかな色彩で食せんを豊にしてくれまします。いずれも割り高ですが、ビタミンCが豊富なので、この季節には欠かせ



ません。またほうれん草もだいぶん安くなりますので、おいに利用いたしましょう。

お魚類は冷凍物が豊富で、お料理にこと欠きませんが、時にはくじら肉もおいしいもので、鉄板焼きはなかなか捨てがたい味があります。食べずぎらいの人がいますから、しょうゆに玉ねぎのすりおろした汁やしょうゆをいれたタレをつくり、しばらくつけてから焼くと、だれにも喜ばれるでしょう。

乾物のこうやどうふもまだ寒い季節のこのごろには最適で、消化もよく、たんぱく質も豊富で、おべんとうのおかずにはもってこいです。

二月のしゅんといえは貝類です。あおやぎ(バカ貝ともいいます)とワケギのすみそあえがおいしく、時にはテンプラも喜ばれます。

◇二月はほこりの季節 節・外出から帰つたらすぐオーバークーにブラッソをかけ、ほこりをとっておきましょう。

手、顔、目をよく洗い、うがいも忘れずにすませましょう。

◇テレビの内部のほこり 時にはテレビの裏のふたをはずしてみてくださいます。ホコリがたかさんたまっています。長時間つけっぱなしにしたり、部品が不良だったりして、内部で放電や過熱がおこり、ほこりに引火して火災になった例があります。電気掃除機か自転車の空気入れで吹きとばすと案外ほこりがとれます。ただし故障は専門家にまかした方が無難です。